

出講のご依頼に関するお願い

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地方の教育関係機関等に出講するハードルが日増しに高まっています。「主催者としてリスクを払うだけの『社会的重要性』が今なお残っているか」に関して再度ご検討の上、催否に関するご判断をいただきましたら幸いです。なお、オンライン講演等は可能です。ご検討の程、よろしくお願いいたします。

■ 浦崎の近況

- ・2月下旬までは全国各地へ連日のように出講していたが、3月の出講数はキャンセルが続出したこともあって「ゼロ」。
- ・3月は、勤務地の東京と自宅の岐阜市を行き来するルート上以外の訪問は「ゼロ」。
・立ち寄り先は 神奈川県・静岡県・愛知県・岐阜県・長野県・新潟県のみ
- ・3月以後、自身が用務先で感染源にならないよう最大限に配慮して生活。
・その一環として「東京滞在時間を減らし、岐阜市の自宅滞在時間を増やす」よう努力
- ・3月27日、大学当局より「教職員の不要不急な国内出張は改めて指示があるまで原則禁止」の指示。（ただし、社会的な責任を果たすべき重要性が高い用務には余地あり）
- ・4月2日、午後に東京を発ち、同夜、岐阜市の自宅に帰宅。以後、徒歩圏内に継続滞在。
- ・4月3日、大学当局より「4月10日まで在宅勤務」の指示。大学は閉講（4月4日～12日）。
- ・4月7日、緊急事態宣言に伴い、大学閉講や在宅勤務の期間が「5月6日まで」に延長。
- ・今のところ、東京勤務の再開は最速 5月7日の予定。（・個人的には「延期」と予想）
- ・4月10日、愛知県が独自の緊急事態宣言、岐阜県・岐阜市が非常事態宣言を発表。
- ・「緊急事態宣言の対象地域」を出発または通過して用務地に移動する場合、自身が会場で感染源となるという「回避して然るべきリスク」を排除するためには、用務日の2週間前に用務地入りし、自己隔離を行う必要性あり。それは「最速 4月16日」に実現可能。（ただし、東京勤務が再開した時点でリセット）
- ・4月16日以後「首都圏を経由しないルートで訪問」が可であれば、一応、移動は可能。ただし、用務地によっては「名古屋駅」「中部国際空港」の経路が不可避（要調整）。
- ・現在、オンライン研修システムを構築中。4月後半の試験運用を経て、5月上旬からの運用を予定。（・用務地に赴かなくても一定の責務を果たせるように）
- ・「google classroom」を活用し、講義は「YouTube」により、質疑応答は「zoom」等を活用して実施することを想定。

■ 「社会的重要性」に関する私見 ・・所属機関の公的な見解ではない点につきご注意ください

- ・今日的なピンチは、半面、「主体的・対話的で深い学び」「探究」「社会課題や他教科と有機化した教科教育」「地域課題の発見・解決」「自分らしく社会に参加することを促すキャリア教育」「オンライン学習」等を統合した「社会に開かれた教育課程」の実現において起死回生をはかるラストチャンス、という一面も併せ持っています。「2年後に迫った新学習指導要領の導入までに抜本的な改革を断行し、生まれ変わった高校として新たな出発を切るために不可欠な研修」であれば、社会的重要性を認められます。

(R2.4.12.浦崎太郎)